

2020年8月7日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
Liquidity Capital M.C. Ltd.

三菱UFJ銀行とLiquidity Capital社による合弁事業の開始について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ} 三毛 兼承、以下 当行）とイスラエルのフィンテック企業である Liquidity Capital M.C. Ltd.（以下 Liquidity Capital 社）は、本日、アジアを中心とするスタートアップ企業向けのファイナンス事業（以下 本合弁事業）を開始することを目的として、合弁契約（以下 本契約）を締結いたしました。

今後、本契約に基づき、当行と Liquidity Capital 社は、シンガポール共和国に折半出資の合弁会社である Mars Growth Capital Pte. Ltd.（以下 Mars Growth Capital 社）を設立いたします。また、Mars Growth Capital 社を無限責任組合員、当行を有限責任組合員とする組合契約（以下 LP 契約）を締結し、ファンドを設立し、同ファンドよりファイナンスを提供してまいります。

なお、本合弁契約および LP 契約に基づく Mars Growth Capital 社、ファンドの設立、並びに事業の開始は本年中を予定しております。

1. 本合弁事業の背景・目的

ICT¹⁾技術の普及によるデジタルライゼーションの進展により、多くのスタートアップ企業が急成長を遂げております。特にアジアにおいては、近年のスマートフォンの浸透等により金融分野においても従来の金融機関のビジネスモデルとは異なる、データと AI 技術を駆使した新たな金融サービスを提供する潮流が加速しております。

Liquidity Capital 社は、2018年に設立されたスタートアップ企業であり、銀行口座・会計システム・CRM 情報等との API²⁾連携によるリアルタイムな財務・会計データの把握と機械学習による将来収益・キャッシュフロー予測モデルを構築した独自の与信判断に強みを持ち、成長過程にありながらも金融機関からの調達が困難なスタートアップ企業向けのファイナンス事業を展開しております。

MUFG は、アジアの成長取り込みとデジタルシフトへの対応を重点戦略と位置付ける中、Liquidity Capital 社の持つデジタル技術の将来性を高く評価し、2019年に連結子会社である株式会社三菱UFJイノベーション・パートナーズを経由して出資いたしました³⁾。本出資を契機に、MUFG と Liquidity Capital 社は、ファイナンス領域における協働可能性について協議をしてまいりましたが、今般、事業拡大を目指す Liquidity Capital 社と、デジタル技術を活用した次世代金融サービスの提供を通じ、アジア地域の成長への貢献を目指す当行の双方の狙いを実現するものとして、本合弁事業の開始の合意に至りました。

2. 戦略的意義

当行の強みであるアジアにおけるネットワークおよび金融知見に、Liquidity Capital 社が有する

先進的テクノロジーやキャッシュフロー予測モデルを掛け合わせることで、これまでの金融機関のビジネスモデルでは提供が困難であったスタートアップ企業向けの金融サービスの提供が可能となります。

当行は、新たな顧客基盤の獲得に加え、Liquidity Capital 社の持つ先進的テクノロジーに対する理解を深めることにより、将来的には本邦を含めた MUFG のビジネスの発展にも繋がる、更なる協働強化の可能性を模索してまいります。

Liquidity Capital 社は、今般の合弁事業を通じて、当行をアジアにおける事業展開の単独パートナーとすることで、事業の拡大、企業価値の向上を図ってまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、リモート環境をより志向する消費者の行動の変化が進む中、テクノロジー業界の市場規模拡大、スタートアップ企業の更なる台頭が見込まれます。今般、当行と Liquidity Capital 社が共同で展開するサービスは、金融包摂やイノベーションの促進のみならず、ウィズコロナ・アフターコロナにおける新しい行動様式への対応、地域社会の持続的な発展にも大きく貢献するものであり、「イコールパートナー」として理念を共有しながら、事業を展開してまいります。

3. 設立予定会社の概要

【合弁会社の概要】

名称	Mars Growth Capital Pte. Ltd.
設立予定日	2020 年中
所在地	シンガポール共和国
資本金（予定）	最大 6 百万米ドル
主な事業内容	投資事業有限責任組合財産の運用及び管理 等
代表者	Ron Daniel
株主	株式会社三菱 UFJ 銀行および Liquidity Capital M.C. Ltd. (出資比率 50%:50%)

【新設ファンドの概要】

名称	未定
設立予定日	2020 年中
出資約束金総額	80 百万米ドル
無限責任組合員（GP）	Mars Growth Capital Pte. Ltd.
有限責任組合員（LP）	株式会社三菱 UFJ 銀行

4. Liquidity Capital 社の概要

Liquidity Capital 社はイスラエル国テルアビブに本社を置くフィンテック企業として、2018 年に設立され、独自の AI 技術を駆使した将来キャッシュフロー予測とスコアリングモデルをベースに、主に成長過程にあるスタートアップ企業向けにファイナンス事業を展開しています。

2018 年の設立以来、業界のリーディングカンパニーを目指し、機動的かつ最適な金融サービスの提供に努めており、当社の持つ技術優位性と世界有数の投資家・金融機関との協働・協業により、急速な成長を遂げております。詳細な情報については Liquidity Capital 社の HP をご参照ください (www.liquidity-capital.com)。

- ① 情報通信技術。Information and Communications Technology の略。
- ② ソフトウェアの機能を共有する仕組み。Application Programming Interface の略。
- ③ 株式会社三菱 UFJ イノベーション・パートナーズが 2019 年 11 月 12 日に公表しましたプレスリリースは、以下のリンクをご参照ください。
- (ウェブサイトへのリンク) <http://www.ip.mufg.jp/post/mufg-innovation-partners-invested-in-liquidity-capital-the-israeli-fintech-and-fund-management-com>

以 上

MUFG による将来予想に関する記述についての注意事項

本資料には将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、「予定する」、「見込む」やその他類似する表現により将来の状況等を説明しております。実際の結果等は、将来予想に関する記述にて見込まれる予想とは大幅に異なる場合があります。MUFG は、法令により求められる場合を除き、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を負いません。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述はあくまでも現時点でのものであり過度に依存いただくことのないようご注意ください。